

岩手・宮城県際ネットワーク

— 令和元年10月1日発行 — (担当公所：東部地方振興事務所登米地域事務所) (第161号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 ◆◆◆◆

登米懐古館が移転・新築されました！

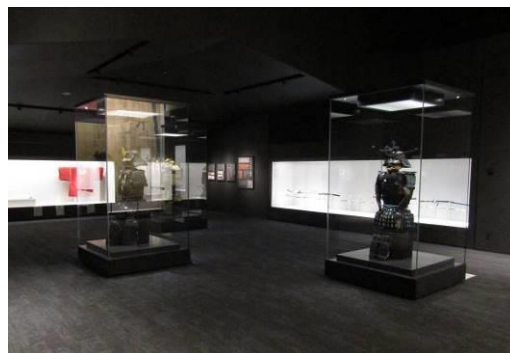
登米市登米町の「登米懐古館」が移転・新築され、9月8日にオープンしました。登米懐古館は、昭和36年に旧登米町の名誉町民である渡辺政人氏の寄贈により、旧寺池城址の一角に建てられたものです。主に登米伊達家に縁のある文化財などを保管・展示していた他、様々な企画展を開催していましたが、築後50年以上が経過し老朽化が著しいため、今回「高倉勝子美術館」の南側に建て替えられました。



設計は新国立競技場や登米市の伝統芸能伝承館「森舞台」の設計に携わった世界的にも

著名な建築家である隈研吾氏が手がけ、材料には登米市産のスレートや杉などが使用されています。

ぜひ、新しくなった登米懐古館にお越しください。



■場所

登米市登米町寺池桜小路

■料金【登米懐古館単独観覧料（一般）】

個人：400円 団体：320円

■お問い合わせ先

登米懐古館

電話：0220-52-3578

「全国地ビールフェスティバル in 一関」が開催されました！

8月23日(金)～25日(日)の3日間、一関市大手町の一関文化センター前広場で第22回「全国地ビールフェスティバル in 一関」が開催されました。

このイベントは、地ビールの普及と一関地方のPRを図る目的で毎年夏に開催されており、今回は34都道府県とドイツの合計71社が参加し、約200種類もの地ビールが集結しました。

23日の一関市は未明から雨に見舞われましたが、開会の午後3時には天候が回復し、初日から家族連れや仕事帰りのサラリーマンなど多くの人でにぎわいました。24日、25日も多くの人でにぎわい、3日間大盛況で終わりました。



会場では地ビールの他に一関市の食材を使用したおつまみコーナーも設けられ、会場に訪れた人たちは地ビールと一緒に枝豆や焼き鳥、フランクフルト等のおつまみも楽しんでいました。

県内からは、蔵ビール(一関市)と銀河高原ビール(西和賀町)、さくらブルワリー(北上市)、夢花まき麦酒醸造所(花巻市)、遠野 ZUMONAビール(遠野市)が参加しました。



■お問い合わせ先

全国地ビールフェスティバル実行委員会
(事務局：一関市観光物産課内)
電話：0191-21-8413

三陸・大船渡夏まつりが中心市街地で9年ぶりに開催されました！

大船渡市の夏のビッグイベントである三陸・大船渡夏まつりが2019年8月2日（金）から8月3日（土）にかけて開催され、多くの観客で賑わいました。

東日本大震災後、この夏まつりは大船渡市の魚市場や野々田岸壁港湾道路等で開催されてきましたが、今年度は会場を大船渡市の中心市街地へ9年ぶりに移し、より一層の賑わいをみせました。また、会場に隣接しているキャッセン大船渡においても夏まつりの開催に併せて各種イベントが開催され、盛り上がりを見せたとともに、会場が中心市街地に戻ってきたことで快適にたくさんのイベントを楽しむことができ、着実に大船渡市の復興が進んでいることも実感できたお祭りとなりました。

三陸・大船渡夏まつりのメインイベントの1つとして親しまれているプログラムが、「気仙甚句囃子」と「おおふなと椿音頭」を交互に踊り、参加者が一体となって踊りを楽しむ市民道中踊りです。



今年の市民道中踊りには、震災後としては最多となる28の団体(約1300人)が参加し、それぞれの団体が統一された法被や浴衣を身にまとい、まつりを盛り上げたとともに、太鼓や笛などの楽器を使った生演奏は踊り手の気持ちを高揚させ、まつり会場全体の雰囲気をもさらに盛り上げました。



また、夏まつりのもう1つのメインイベントとして愛されているプログラムが、約8000発の花火を約1時間にわたって水上で打ち上げ、多くの観客を魅了する花火大会です。市民協賛花火の「ウルトラスーパージャンボスターメイン」や「ナイアガラの滝」などの多種多様な花火が大船渡の夜空を彩り、今年の夏まつりを締めくくりました。

■お問い合わせ先

三陸・大船渡夏まつり実行委員会（大船渡商工会議所内）

電話：0192-26-2141

「ツール・ド・いちはさま 2019」が盛大に開催されました！

8月18日、清々しい青空の下、「ツール・ド・いちはさま 2019」が開催されました。このイベントは、自転車好きの有志が集まって実行委員会を結成し、栗原市に「サイクルツーリズム」を推進する契機とするために開催され、今年で2回目となります。

この日集まった250名は、一迫総合支所をスタートして、基本コース87km、ライトコース75kmをそれぞれに栗原の風景を楽しみながら走行しました。

途中、エイドステーションでは、そば団子やトマト、ジェラートなど地元の特産物を味わいながら、栗原の暑い夏のひとときを過ごしていました。



(颯爽と走り出す選手)



(開会式)



(県が出店したブース)



(スタート地点)



(35事業者が出店)

みやぎ水産の日「マグロ」で元気！

10月の「みやぎ水産の日」食材はマグロです。

今回は、気仙沼市魚市場に多く水揚げされる「ビンチョウマグロ」についてご紹介いたします。

正式には「ビンナガ」が正しい呼び方ですが、れっきとしたマグロの仲間です。長い胸びれを広げた姿がトンボに似ていることから、「トンボ」、「ビンチョウ」とも言われています。



全長は1m程度で体重は約25kgとマグロの中では比較的小ぶりの魚です。肉質は柔らかく、淡いピンク色、あっさりとした味わいが楽しめる魚で、気仙沼地域では主に刺身で食されています。



(左手前がビンチョウマグロ)

脂が乗ったビンチョウマグロは別格で、最近では「トロビンチョウ」、「トロビン」、「ビントロ」などと呼ばれ刺身や寿司のネタとしても人気が高まっています。

ビンチョウマグロは、DHAやEPAなどの脂肪酸が豊富で、ビタミンB群やビタミンEも多く含む栄養価の高い魚です。

スーパーでも手頃な値段で手に入ることから、気仙沼市民の食卓にはよく並びます。また、「ツナ缶」の原料として、ビンチョウマグロもよく使われていますので、誰でも一度は口にしているのではないでしょうか。



「みやぎ水産の日」Youtubeチャンネルや水産業振興課のHPでは、みやぎの美味しい水産物のアレンジレシピを公開しています。

ぜひ、試してみてくださいはいかがでしょうか。

■詳しくは

宮城県水産林政部水産業振興課

URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/>

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆ 全国ご当地もちサミット in 一関

今年のご当地もちサミット2019 in 一関
10月12日(土) 10:00~18:00 13日(日) 10:00~15:30
一関市総合体育館(ユードーム)
今年の参加店舗は28店舗!! もちふだを投票してグランプリを決定!! (投票終了時刻は1日14:00まで)
2020年は春開催!
ご当地もちサミット実行委員会事務局 (一) 世界遺産平泉・一関DMO TEL. 0191-345-345

餅の聖地「いちのせき」が「もちのせき」になる日、各地の餅料理を集め、グランプリを決定します。昔ながらの餅料理、創作料理、スイーツなど多種多様な餅料理を一度に味わうことができます。

■日時

10月12日(土)~13日(日)
10月12日(土)
午前10時~午後4時(投票終了:午後4時)
10月13日(日)
午前10時~午後3時35分
(投票終了:午後2時)

■場所

一関市総合体育館

■お問い合わせ先

世界遺産平泉・一関DMO
電話: 0191-345-345

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆ オープンファクトリー五感市

魅せる技、観せる業
オープンファクトリー
金感市
OPEN FACTORY "GOKANICHI"
2019.11/8 Fri. 9 Sat. 10 Sun. 11 Mon. 4 DAYS
自由見学
11/9 10:00~12:00 五感市

一関市・平泉町・奥州市の参加企業の工場や工房など、裏側を消費者が直接見学することにより、製品への理解や企業のファンになってもらう取り組みです。地場産業を見学しながら、歴史・遺跡観光もできる期間となっております。

■日時

11月8日(金)~11日(月)

■場所

一関市・平泉町・奥州市の各参加企業

■お問い合わせ

オープンファクトリー五感市実行委員会
(一 BA(いちば))

電話: 0191-48-3838

オープンファクトリー五感市 HP:

<http://iwate-kennan-kogei.com/openfactory/>

◇◆◆◇岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◇◆◆◇
お得なレンタカープラン販売中!

岩手県と宮城県では、株式会社トヨタレンタリース宮城・仙台・岩手の3者と連携し、三陸沿岸地域を快適に楽しめるお得なレンタカープランを企画しました。レンタカープランの概要に加え、気仙・気仙沼地域の魅力情報と目的地までカーナビに簡単な数値を入力するだけで案内する「マップコード」を記載したドライブマップを活用し、三陸沿岸のドライブをお楽しみください。



■利用可能期間

2020年3月31日(火)まで

■当レンタカープランの申込方法

トヨタレンタリース宮城・仙台・岩手の各店舗への電話または来店での申込み

■ドライブマップの入手はこちらから

さんりく旅するべ～岩手三陸観光ガイド～

https://sanriku-travel.jp/know/area_info/pl488/

■ドライブマップについてのお問い合わせ先

岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター地域振興課

電話：0192-27-9911

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◇◆◆◇
「全国苔フェスティバル in 栗原」を開催します!

栗原地域の豊かな自然環境を生かしながら、山間地域の産業の活性化を図るため、新たな森林資源として、県内ではこれまで活用事例のない「苔」を利用した地場製品の産地化を目指すため、地域住民や関係機関と連携しながら苔栽培に取り組んでいます。

この取組を全国に情報発信するとともに、県内外で苔を生産している皆さんを集い、苔玉や苔テラリウムの展示販売や体験会など苔の魅力を体感できるイベントを開催します。



(苔玉)

■開催日時

令和元年10月26日(土)

午前10時から午後3時まで

■場所

栗駒高原森林組合

(宮城県栗原市栗駒桜田街道西11-96)

■入場料

無料

■お問い合わせ先

全国苔フェスティバル in 栗原実行委員会

(栗原地域事務所 林業振興部 内)

電話：0228-22-2391



(苔テラリウム)

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼
地方振興事務所 ◆◆◆◆
リアス牡蠣まつり唐桑・商工祭

「リアス牡蠣まつり」に気仙沼市唐桑町のごちそうが大集合。唐桑町で採れた「生カキ」をはじめとした海産物を販売。焼き牡蠣の無料ふるまいもあります。恒例のカキ殻積み大会は飛び入り参加も可能で、優勝者には景品も用意しています。地場産品の販売等が行われる商工祭と同時開催されますので、ぜひ足をお運びいただき、唐桑の旬の味をご賞味ください。



■日時

令和元年 11月10日（日）
午前8時30分～午後2時

■場所

気仙沼市立唐桑小学校 校庭

■お問い合わせ先

唐桑町観光協会
電話：0226-32-3029

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◆◆◆◆
はっと屋台村

登米市の郷土料理として有名な「はっと汁」の食べ比べができる「はっと屋台村」が開催されます。油麩はっとや海鮮はっと、あずきはっとなど、王道なものから個性豊かなものまで、色々なはっと汁を味わうことができます。

10月の三連休は「はっと屋台村」に来ませんか。



■開催日

10月12日（土）～14日（月・祝）

■時間

午前10時～午後3時

■料金

一杯300円

■場所

とよま観光物産センター遠山之里

■お問い合わせ先

とよま振興公社
電話：0220-52-5566

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
佐沼秋のフリーマーケット

登米市役所（迫総合支所）付近一帯にて東北最大規模のフリーマーケットである「佐沼秋のフリーマーケット」が開催されます。出店者の方とのお話を楽しみながら、自分のお気に入りの品を探しに来ませんか。

また、メイン会場になっている中江中央公園では、特設ステージを設けて様々なイベントを開催する予定です。

■開催日

10月20日（日）

■時間

午前9時～午後3時30分

■場所

登米市役所駐車場、中江中央公園
（登米市迫町佐沼中江2丁目6番地1）

■お問い合わせ先

佐沼中央商店会事務局
電話：0220-22-1717

